

図4 池5のミズニラ。左側の個体は、シカに上部を食べられている。糸状の植物はハリイ(1994年6月12日)。

夫氏には文献に関して、それぞれご教示いただいた。これらの方々に厚くお礼申し上げたい。

引用文献

- 角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 179pp. 文一総合出版, 東京.
- 倉田 悟・中池敏之. 1985. 日本のシダ植物図鑑. 4. 850pp. 東京大学出版会, 東京.
- 松村雅文. 1994. 広島県のシダ植物分布. 137pp. (自刊)
- 関 太郎. 1973. 八千代町大沢湿原およびその付近の学

術調査報告書. 9pp. 広島県林務部.

- Shimoda, M. 1983. *Deinostemato-Eriocaulum hondoensis* (nov.): communities of emerged pond shores in Hiroshima Prefecture, Japan. Jap. J. Ecol. 33: 121-134.
- 下田路子. 1987. 西条盆地で新たに確認した水草2種: ミズニラとオオフサモ. 水草研究会会報 30: 12.
- 下田路子. 1989. 西条盆地(広島県)のミズニラの生育地. 水草研究会会報 38: 13.
- 下田路子・橋本卓三. 1993. ミズニラ池(仮称)の植生と水質の変化. 植物地理・分類研究 41:103-106.
- Takamiya, M., Watanabe, M. & Ono, K. 1994. Biosystematic studies on the genus *Isoetes* in Japan. 1. Variations of the somatic chromosome numbers. J. Plant Res. 107: 289-297.
- 竹田孝雄. 1988. 広島県のシダ植物. 560pp. 博新館, 広島.
- 我が国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会 種分科会(編). 1989. 我が国における保護上重要な植物種の現状. 320pp. 日本自然保護協会・世界自然保護基金日本委員会, 東京.

○レッドデータブック近畿研究会(編著)『近畿地方の保護上重要な植物—レッドデータブック近畿—』(関西自然保護機構発行, 1995年1月, 121p, 頒価2,500円)

絶滅危惧種の保全の取り組みにおいて, 1989年に出版された全国版レッドデータブックだけではカバーしきれない実情が地方ごとに存在する。そのため地方版のレッドデータブックの出版が切望され, 準備が進んでいる地域もあるが, 全国に先駆けて出来上がったのが本書である。行政の音頭取りではなく, 自発的な研究グループによってまとめられたことも特記に値する。

第1章「総論」で種を保全することの意義と方策について, 第2章「近畿地方の植物」で近畿地方のフロアラの成り立ちについて簡潔に論じた後, 第4章「保護上重要な植物の生育環境」で, さまざまな環境の特性と現状

が詳説される。水域と湿地の部分が水草に関連する部分である。第5章「府県別各論」は, 府県毎に植物相の特性と保護を要する植物と環境の現状と保全について論じている。この4章と5章が, レッドデータブックとしては異色であるが保全の取り組みには不可欠の部分である。このような作業を経てようやく保護上重要な植物種の選定が行なわれる。ここにリストされた種は862にのぼり, ほぼ全国版に匹敵する。分類群別リストと和名索引があり, 利用の便が図られている。その中に多くの水草が含まれることは想像に難くないだろう。さらに, 各種類について生育環境と府県別分布情報が全種について一覧表として掲載されている。多くの地域から既に絶滅もしくはその可能性が高い種の多さには驚くばかりである。

(16p下へつづく)

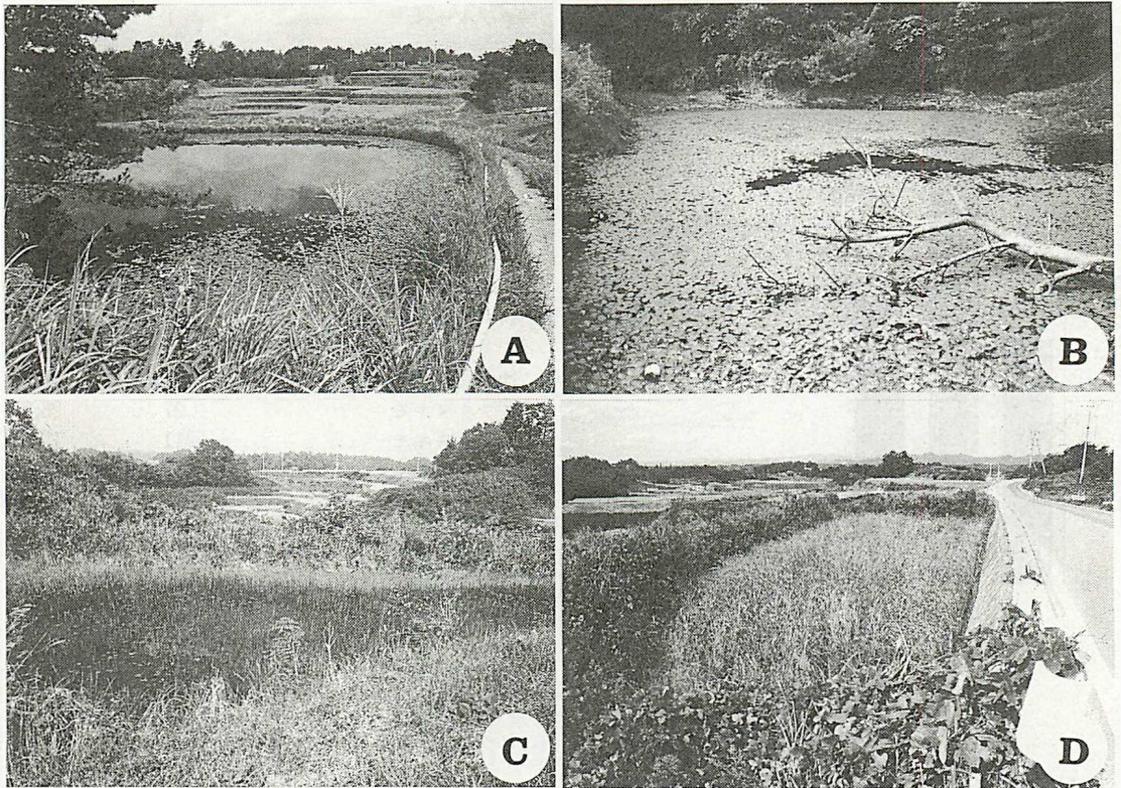


図3 調査したため池の例. A. 水田の間に小規模なため池が散在する. B. 浅い谷の奥がため池になっていた. ジュンサイが優占する. C. 池全体にクログワイが優占することは、池全体が浅いことを意味する. D. ヒメガマが池一面に広がった池.

ノフサモのほうが普通であるが、この地域に「フサモ」が多産することも興味深い。その他、絶滅危惧種のスブタやミズニラはじめ、ミズオオバコ、ヤナギスブタなどの見られる池もある。またコカナダモが侵入して繁茂している池も少数であるが認められた。

このように、当地区の水生植物相は、貧栄養な水質の池に特有の種類が優占することが大きな特徴で、はじめに述べたメダカの多産なども含め自然度の高さを示しているだろう。このように貴重な場所であるが、最近、すぐ近くまで住宅地の造成が押し寄せてきつつある。この地域の池は小規模で、もし開発計画がもちあがっても、

ほとんど保護の対象としては顧みられないようなものばかりである。個々の池を守るというよりも、地域全体の自然環境を守るという観点から、今後、当地区の保全については十分な配慮が払われることを期待する。

引用文献

- 角野康郎, 1994a. 兵庫県におけるため池の水生植物の現況 1. 明石市 (1992). 水草研会報 (53) : 1-7.
角野康郎, 1994b. 日本水草図鑑. viii + 179 p., 文一総合出版.

(12p下からつづく)

現地調査と種の選定のための議論に大変な時間とエネルギーを費やしてできあがった本書は、絶滅危惧種の保全に取り組もうとする全国の人たちにとっておおいに参

考になるものと信ずる。本書の入手を希望される方は、関西自然保護機構 (郵便振替00990-2-16679) に2,500円 (送料とも) を送金されるとよい。

(角野康郎)